

日本語マニュアル



2.4GHZエディション
ご使用前にガイドをよくお読みください(詳細内容と注意事項を充分にお読みください)。このマニュアルは後の参照のために保管しておいてください。

安全に関する重要情報

(1)本製品は玩具ではなく、機械、電子、航空力学、高周波伝送、その他の専門的な知識を1つの精密な高密度装置に搭載したものであり、事故防止のために正しく組み立て、また試運転が必要。製品の所有者は安全な方法で使用しなければなりません。操作の制御、不適切な操作により重大な人的損傷または資産の損害の原因となる場合があります。当社は組立、使用、操作のプロセスを管理することができないため、それらに対する責任を負いません。

(2)本製品はモデルの操作経験を持つ人に適しており、14歳以上を対象としています。

(3)飛行場所は国内で正式に認められているリモコンモデル飛行エリアでなければなりません。

(4)製品が販売された場合、安全性および操作や使用、制御、その他に起因する安全面について当社は責任を負いません。

(5)使用、操作、および計画に関して何か問題がある場合は国内の販売会社に連絡してください。テクニカルサポートおよびアフターサービスは販売会社に委任しております。

2. 安全のための注意事項:
リモコン式のドローンは危険を伴う商品であり、人のいない場所で飛行させねばなりません。組立時や本体への人為的な損傷、電子のコントロール、不適切な装置、また操作に慣れないことなどが原因でドローンが損傷を受けたり人が怪我をしたり、またその他不測の事故が発生する場合があります。操縦者は安全性に配慮するとともに、自己の不注意により事故の責任を負わねばならないことを理解する必要があります。

(1)ものや人から遠ざける
リモコンで飛行させると思わぬ速度や状態で行うことがあり、危険な場合があります。人、高層ビル、高圧線などから離れた場所で飛行させ、風や雨、嵐、その他の悪天候の際は操縦者や周囲の人々、また建物などの安全性を確保するために飛行を控えてください。

(2)湿った場所を避ける
ドローンの内部は数々の洗練された電子コンポーネントや機械部品から作られています。組立時や本体への人為的な損傷、電子のコントロール、不適切な装置、また操作に慣れないことなどが原因でドローンが損傷を受けたり人が怪我をしたり、またその他不測の事故が発生する場合があります。操縦者は安全性に配慮するとともに、自己の不注意により事故の責任を負わねばならないことを理解する必要があります。

(3)安全な操作
リモコン式ドローンはあなたの体調やフライトスキルに応じて操縦してください。疲れていたリ、気分が優れなかったりすると正しく操縦できません。思わぬ事故の危険性も高くなります。

(4)高速回転する部品に触れない
プロペラが高速で回転している時は、怪我や損傷を避けるために、回転部分か操縦者や周囲の人々、またものに近づかないようにしてください。

(5)熱から遠ざける
リモコン式ドローンは金属、ファイバー、プラスチック、電子コンポーネントなどの素材からできていて、高温による変形や破損が起きないようにできるだけ熱から遠ざけてください。

このドローンにはリチウムポリマー電池(LiPo)が使われています。リチウム電池は通常の電池とは異なり、内部の化学物質を薄い紙で包んだ層からできています。こうすることで重量を軽くすることができるのは素晴らしいですが、表面の粗い場所や不適切な操縦には弱いという特徴があります。また、通常の電池と同様に、不適切な取扱いにより火災や爆発の原因となる場合があります。

⚠️ドローンに電池を入れたまま充電しないでください。電池が発火してドローンが損傷する場合があります。

- この製品を1週間以上使用する予定の場合は、電池を少なくとも50%残しておくで電池の寿命が伸びます。電池の充電を50%使用したら、完全に充電してから再度使用してください。そうするとフル充電時間が半分で済みます。
- 充電には専用の充電器を使用してください。
- 火災を防ぐために、カーペットの上では充電しないでください。
- リチウム電池の電圧を維持し、充電状態が保てるのは充電後3ヶ月間です。

モコンおよびドローンの電池の装填および充電ガイド

リモコンの電池の装填

図のように、電極の指示(+/-)どおりに電池を正しく装填してください(図参照)。

ドローンの電池の充電

- USBケーブルをPCに接続して充電する場合: USB充電器の一方の終端をドローンの電池に差し込み、もう一方の終端をPCのUSBポートに差し込んで電池を充電します。充電中はライトが点灯し、完全に充電されるとライトが消えます。
- ドローンを電源に接続して充電する場合: 充電する電池をドローンの電池ケースに入れ、車両の電源ソケットに充電プラグを差し込みます。ドローンの電源に接続するとドローンのライトが点灯します。

ドローンの組立て

1. 折りたたみ機能
折りたたむ時は、後ろ側のアームを折って前側のアームをおります。広げる時はその逆となります。

2. ドローンのプロペラ
プロペラを取り付ける際にはプロペラに付いている印に従って正しい向きになるようにしてください。A、Bという印の付いたプロペラはドローンのアームの右上のコーナーと左下になります。プロペラは止めネジの位置に合わせて取り付け、その後ネジで固定してください。

ドローンの保護ラックの取付け
ドローンのアームの位置(図参照)に保護フレームを取付けて固定します。

リモコンの機能名

ヘッドレスモード/ワンキーリターン
360°ロール/緊急停止
速度スイッチ
左側微調節
前方微調節
右側微調節
後方微調節
ワンキー離陸
ワンキー着陸
オン/オフスイッチ

リモコン

1. 携帯電話ラック
リモコンの下部のプラケットを引き出して携帯電話をはめ込みます。

2. 2.4Gの周波数
ドローンの電源スイッチを押してドローンを平らな地面に置きます。ドローンのインジケータライトが点滅します。リモコンの電源スイッチを押し、スロットルジョイスティックを一番下に引き下げてから一番上に押し上げます。ブザーが「カチ」という音を鳴らします。ドローンのインジケータライトがオンになり、正しい周波数に設定されます。

3. 離陸および着陸ボタン
ヒント: 本製品は環境温度その他の様々な要因をバロメータとしてしています。低い高度で空中に浮かぶと、ドローンは自動的にマニュアルモードになって操作できるようになります。電圧が低くなると高く飛んだり低く飛んだりするのは正常な飛び方です。

4. 操縦

A. スロットル(左のレバー)
左のレバーを上押し上げるとドローンが上昇します。左のレバーを下に下げるとドローンが下降します。

B. 前後(右のレバー)(カメラが前側)
右のレバーを上押し上げるとドローンが前進します。右のレバーを下に下げるとドローンが後進します。

C. 左右への横移動飛行
右のレバーを左に押すとドローンは左に移動飛行します。右のレバーを右に押すとドローンは右に移動飛行します。

D. 左右への旋回(カメラが前側)
左のレバーを左に回すとドローンが左に旋回します。左のレバーを右に回すとドローンが右に旋回します。

E. 微調節(カメラが前側)
前進後進の微調節: やや後ろ、やや前
離陸時に本体が後ろに傾く場合は、前側の微調節ボタンで調節してください。
離陸時に本体が前に傾く場合は、後ろ側の微調節ボタンで調節してください。

方向の指定とヘッドレスモードのモード選択

ヘッドレスモードに変更すると、ドローンは前後の方向に関係なくリモコンを基準点として前後の位置を判断します。例: 右レバーを前に押すと、ドローンはリモコンから遠ざかります。右レバーを引戻すと、ドローンはリモコンの方へ近づきます(カメラが前側です)。

1. 離陸前のドローンの向き: ドローンの向きは操縦者側が前になります(カメラのある方が前です)。リモコンでマニュアル飛行にして離陸させます。これで飛行時の向きが決定されます。

2. ヘッドレスモードで飛行している時にリモコンから「ピーピー」と2回音が鳴ったら、ドローンのライトが点滅してヘッドレスモードになります。リモコンを押して「ピー」という音が鳴ったら、ヘッドレスモードが終了します。

ターンキー

ターンキーを押すと自動的にドローンの制御権が移り、ドローンが戻ります。戻ってくる間は制御できず、自動的に戻ってきます。右レバーを操作するときの機能が停止します。
*メモ: この機能は自動的に動作し、目的地に到着してから再び制御することができますように戻ります。

速度の選択

飛行時の前進後進、左右への移動のスピードは3段階に別れており、リモコンで操作します。デフォルトは低速で、リモコンを2回押すと中速になり、3回押すと高速になります。もう一度押すと低速に戻ります。(初心者の方は低速での操作をお勧めします)

リモコンで録画を操作する

動画とカメラのボタン(または、リモコンを使用してドローンを操縦している場合は、携帯電話のアプリの動画、写真撮影ボタンを使用して動画を操作します。カメラも同様にWiFi映像の録画または撮影ができます) プロンプト:
1. 携帯のWiFi空機の場合、WiFi接続後20秒経つとリモコンで動画や写真撮影ができます。
2. アプリに繋がらない場合は、SDカードストレージにWiFiフライトカードが入っていることを確認してください。

ドローンの設定のリセット

- 設定をリセットすると、ドローンの4軸のジャイロスコープとリモコンの微調節が一緒にリセットされます。
- 操作する前にドローンを平らな面に置き、図のようにスティックを2秒間押しします。リモコンから(音)の音がしたら、ドローンのライトが素早く点滅してリセットが完了します。
- この機能は通常は使わず、ドローンのメンテナンス調節や重大なミスが生じた場合にのみ使用します。

*緊急着陸
1. 飛行中に緊急停止が必要な場合は、ボタンを押すと(図参照)ドローンが動作を停止します。(ドローンが通常どおり高い高度で飛行している最中にはこの操作を行わないでください)

2. ドローンが45度以上傾くと、エンジンを保護するため停止します。

3. アプリを使用してドローンをコントロールしている場合は、スロットルをスライドして下げてワンキー離陸ボタンを押すと緊急着陸します。

問題ガイド

問い	原因	対応
ドローンの電池を入れた後もドローンのインジケータライトが点滅し続け、操作に反応がない	リモコンとドローンをもう一度操作してください	リモコンとドローンをもう一度操作してください
ドローンの電池を接続、電池やプロペラには問題はないが、それでも動作しない	ドローンのリチウム電池の残量が少ない	電池に充電するか、完全に充電されている電池と交換してください
スロットルレバーを押してもエンジンがかからず飛ばない。ドローンのインジケータライトが点滅している	1. メインエンジンの変形 2. ドローンの電池の残量が少ない	1. メインエンジンを交換してください 2. 電池を充電するか、別の電池と交換してください
ドローンのメインエンジンが正常に回転していない	1. メインエンジンの変形	1. メインエンジンを交換してください
ドローンがひどく揺れる	ジャイロスコープが正しくない	リモコンで自動的にモードを修正するか、再度周波数を設定してください

アプリのダウンロード

リアルタイムの空機ソフトウェア「JY UFO」をダウンロードすると、ドローンの飛行中にFPVをリアルタイムで伝送することができます。

図1: App Store / Google Play
図2: アプリの起動画面
図3: 接続設定画面

ご使用前に、ドローンの電源スイッチを入れてドローンを平らな場所に置き、携帯のWiFiインターフェイスを開き、図1のようにWiFi名(WIFIUFO-##)に接続してください。

2. 主な機能の説明

3. WiFiに接続されたら、アプリを開き、図2のようにメインインターフェイスに移動します。「Play」をクリックしてアプリを開始します。図3のように「+」をクリックして通常のコントロールインターフェイスに移動します。「Altitude hold(高度維持)キー」をクリックすると「Black」になり、「Altitude hold」インターフェイスに移動します。

4. 動画の接続に成功すると、携帯の画面を通じてWiFiカメラに送信される画像を見ることができます。

1. アクセラレータ
2. ジャイロセンサー
3. 磁気コンパス
4. GPSモジュール
5. 高度センサー
6. 気圧センサー
7. 温度センサー
8. 湿度センサー
9. 気圧センサー
10. 気圧センサー
11. 気圧センサー
12. 気圧センサー
13. 気圧センサー
14. 気圧センサー
15. 気圧センサー

1. 重力感知モード: アイコンをクリックして重量感知モードに入ります。

成功するとアイコンが黄色くなり、携帯をゆすってドローンを前進、後進、左旋回、右旋回とコントロールできます。もう一度アイコンをクリックするとパーモードに戻ります。

2. 写真撮影: ドローンが空中に飛んだら、写真を撮りたい場所の方向に向くよう操作し、カメラアイコンをクリックして写真を撮影します。撮影が終わったら、リモートバーの方向を操作してカメラのターゲットを変えます。写真撮影には0.5から1秒かかります。

3. 4軸ドローンのロック解除
4軸ドローンの電源スイッチを入れ、図1のように上部のアイコンをクリックし、次に図2のようにボタンをクリックしてアイコンのロックを解除すると、ドローンのプロペラが低速で回転します。

4軸ドローンのカメラのレンズがある方がドローンの前方になります

左側のジョイスティック(スロットル)を押すとメインエンジンのスピードが上がります。4軸ドローンが上昇します。左側のジョイスティック(スロットル)を押し下げると、メインエンジンのスピードが落ち、4軸ドローンが下降します。

右側に旋回
左側に旋回

右側のジョイスティック(ラダー)を押すと、4軸ドローンが前進し、右側のジョイスティック(ラダー)を押し下げると、4軸ドローンが後進します。

右側のジョイスティック(ラダー)を右に押し、4軸ドローンが右に移動し、右側のレバー(ラダー)を左に押し、4軸ドローンが左に移動します。

4軸ドローンが時計回りに旋回する場合は、右側の微調節ボタンで正常になるまで調節してください。

4軸ドローンが反時計回りに旋回する場合は、左側の旋回微調節ボタンで調節してください。

4軸ドローンが離陸時に左方向にドリフトする場合は、右側の微調節ボタンで調節してください。

4軸ドローンが離陸時に右方向にドリフトする場合は、左側の微調節ボタンで調節してください。

前進ボタンを押しても4軸ドローンが後方に動く場合は、前側のトリムボタンを押して正常になるまで調節してください。

後進ボタンを押しても4軸ドローンが前方に動く場合は、後ろ側のトリムボタンを押して正常になるまで調節してください。

*メモ: 4軸ドローンが地面から30cm以内にある場合、地面からの電流の影響を受けて不安定になります。これは、地面効果です。4軸ドローンが大きいほど、地面効果も大きくなります。

製品の主要アクセサリ名

01: 本体カバー
02: 本体アンダーカバー
03: リーフ
04: 左前軸
05: 右前軸
06: 左後軸
07: 右後軸
08: PCBボード
09: エンジン
10: ギア
11: 電池
12: USBチャージャー
13: カメラボード

製品の主要アクセサリ名

番号	名称	数量	番号	名称	数量
01	本体カバー	1	08	PCBボード	1
02	本体アンダーカバー	1	09	エンジン	4
03	リーフ	4	10	ギア	4
04	左前軸	1	11	電池	1
05	右前軸	1	12	USBチャージャー	1
06	左後軸	1	13	カメラボード	1
07	右後軸	1			